



AIIC 粘菌の会 会報



河津桜

桜前線と共に始まるお花見は、日本ならではの楽しい行事です。新型コロナウイルスの広がりにより今年はずっとの行事となりました。例年観察会の会場となる釋蔵院の桜は、今年も力強く大空に堂々とその姿を見せてくれました(3/24)。 境内の粘菌達は、次は自分達の出番と身を潜めて待っていることでしょう。



おめでとう!!

東京より来館のI・Mさんが念願の大学

「生命環境学群生物学類」に入学決定との連絡がありました。うれしいニュースです!
彼女の応援と私達会員もパワーを貰いましょう。

上総国府跡と推測されている畑より釋蔵院を望む

1250年前(天平)聖武天皇の詔により、国の繁栄人々の平和な暮らしを祈り、全国68か所に建立、七重の塔をもつ上総国分寺はその中でも大国の最高位にあります。市原市能満は歴史ロマンの眠る地域です。天平から令和といつの時代も人々の私達の祈りは続きます。

森の芽吹きの中で……



3/11 朱色の鮮やかな? 3/24 〇ローソクの色に変身
今年最初の〇〇、【粘菌もどき】でしょうか

行事予定

5月9日(土) 定例会

コロナウイルスの拡大により変更

6月6日(土) 定例会 総会

☆春の観察会日時は後日に決定します。

会報発行にあたって

令和元年5月創刊号より1年が過ぎました。粘菌を通じた皆様の自由な情報交換の会報となればと考えます。皆様の寄稿や情報提供をお待ちいたしております。 文責中村(良)

2019年度粘菌博物館来館者数

年間来館者総数 56名

地域別 受付記入者のみ

千葉県内	35名
東京都	10名
神奈川県	2名
埼玉県	8名
愛知県	1名

☆ 最も多い月 8月(23名)

☆ リニューアルオープンの

2月は11名(前年度は0)

☆ 一日がかりで遠方より来館の

皆様が増えています。

子実体のように仲間が集まり

変形体のように……広がり

楽しくなりそうですね。

文責 中村(良)